

トウダイグサ

Euphorbia helioscopia L.
トウダイグサ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

個体数が少ない。道路工事や海岸整備によって産地が消滅する可能性がある。

分 布

本州から沖縄に分布。県内では海岸沿いに分布する。

種の特徴

道端や畑に生える越年草。高さ 20～40 cm。茎の先に葉を 5 個輪生する。葉は互生し、倒卵形、長さ 1～3 cm。花期は 4～6 月。葉腋から放射状に枝を出し、その先に杯状花序をつける。子房は平滑。

生育を脅かす要因

道路工事、海岸整備。

参考文献 林弥栄ほか (2013)、福井県植物研究会 (1997)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○		○				○	○									○

ミヤマヤナギ

Salix reinii Franch. et Sav. ex Seemen
ヤナギ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地、個体数とも極めて少ない。

分 布

北海道、本州（中部地方以北）に分布。県内では嶺北地方の一部で確認されている。

種の特徴

高山及び亜高山に生える低木で、ふつう高さ 1～2m、高所のは矮小で丈が低く、低山地のものはときに 3～5m になる。若葉には細毛があり、成葉は無毛で、形は変化に富み、長さ 4～9 cm、幅 2.5～5 cm。5 月上旬から夏頃にかけて、葉とともに円柱形の花穂が現れる。

生育を脅かす要因

産地が限られていることによる。

参考文献 佐竹義輔ほか (1989a)、福井県自然保護課編 (2004) 福井県植物研究会 (1999)、福井県樹木誌 (2011)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	

エイザンスミレ

Viola eizanensis (Makino) Makino
スミレ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地が少なく、生育数も少ない。

分 布

国内分布は本州～九州。県内分布は大野市、おおい町。

種の特徴

地下茎は短く、根生葉は少ない。葉は 3 全裂、小葉はさらに分裂し、裂片も細裂することがある。花時の葉は長さ 5 cm ほど、花後は 10～15 cm ほどになる。花は淡紅紫色で濃淡の変異がある。

生育を脅かす要因

自然環境の破壊による変化。園芸用の採取等。

参考文献 福井県植物研究会 (1997)、林弥栄・平野隆久 (2013)、佐竹義輔ほか (1981)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○														○	